

製品名: Pumilio 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84316**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 126 kDa ; Observed MW: 140 kDa

抗原情報

遺伝子名	Pumilio 1
別名	HsPUM; PUM L1; Pum1; PUMH 1; PUMH; PUMH1; Pumilio1; PUML1;;Pumilio 1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q14671
免疫原	ヒト Pumilio 1 由来の合成ペプチド

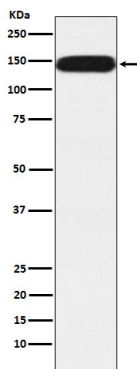
背景

mRNA 標的の 3'-UTR に結合し、転写後抑制因子として機能する配列特異的 RNA 結合タンパク質。RNA コンセンサス配列である Pumilio 応答エレメント (PRE) (5'-UGUANAUA-3') に結合し、これは Nanos 応答エレメント (NRE) と関連している。CCR4-POP2-NOT デアデニラーゼを直接リクルートすることで、翻訳阻害と mRNA 分解を誘導するなど、様々なメカニズムを介して転写産物の転写後抑制を媒介する。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の Pumilio 1 発現のウェスタン プロット分析。